

ごちそうさま



最近、イノシシが畑を荒らすとか、クマが人を襲うとかが問題になっています。どうしたものやら困ったものですが、それにしても、なぜ出てくるようになったんでしょうね？

昨日(27日)の法座で、福間義朝先生が面白い話をしてくださいました。カラスに畑を荒らされて困っていた人が、いろいろ考えたあげく、カラスに話しかけることにしたんだそうです。「おーい、元気か？」「今日はどうだ？」というふうに。

一方、隣の畑の人は、カラスをみると汚い言葉でののしりながら追い

もったいない

いただきます

払っていました。そうすると、カラスは、ナント、やさしく話しかけた人の畑を荒らさずに、隣の人の畑を荒らすようになったんだそうです。本当でしょうか？

クマやイノシシに話しかけると大変なことになりそうですが、動物に対してこんな向き合い方(生き方)もあるんだなあと感じました。

私たちは、邪魔なものを排除し殺してしまうような、地獄につらなる暗さを持っていますが、反対に、苦悩に共感し、助け合うことのできるような、明るい世界にもつながっています。それをどっち側に向けて伸ばすのかは「自己責任だ」なんて仏さまがおっしゃったかどうかは知りませんが。

※食中毒防止のため、早めにお召し上がり下さい。

西教寺進徳仏教婦人会
私たちといっしょにお聴聞しましょう

おかげさま



合 掌

〔食後のことば〕

○尊とといおめぐみにより、おいしくいただきました。
ました。(合同の時司会者発言)

●おかげで、御馳走ごちそうさまでした。

〔食前のことば〕

○みほとけ仏と、みなさまのおかげにより、この御馳走ごちそうを恵めぐまれました。(合同の時司会者発言)

●深ふかくご恩おんを喜よろこび、ありがたくいただきます。